

健康の増進

記者発表資料
令和2年2月12日

健康医療部健康づくり推進課

40歳以上女性の骨密度測定の充実 ～ 早めの骨密度測定で介護予防 ～

■ 事業の目的・概要

骨粗しょう症は骨折の原因となり、要介護状態の主な原因となっていると言われていいます。また、骨の強度が低下する要因の一つとして、加齢による女性ホルモンの低下が考えられ、早期の骨密度測定が骨粗しょう症予防につながります。

そのため、本市ではこれまで、20歳以上の男女を対象としておりましたが、それに加え健康増進事業実施要領に基づき、新たに40歳以上女性の節目年齢を対象に受診勧奨を実施し、骨粗しょう症予防の早期の対策を促進します。

■ 令和2年度の実施方法

	これまで	令和2年度
対象者	20歳以上の男女	20歳以上の男女 ※ <u>40歳以上の節目年齢(40、45、50、55、60、65、70歳)の女性を対象に、受診勧奨通知をすることで、優先的に受診していただく。</u>
実施回数 (1回：120人)	年9回	年12回 (+3回)
対象者人数	1,080人	1,440人 (+360人)
測定方法	超音波法(踵骨)	同左
結果説明	測定者全員	同左
個別相談	要指導域該当者または希望者	同左

*下線が拡充した内容

■ 実施スケジュール

令和2年度

- ・ 7月 広報・チラシの配架等による事業の周知
- ・ 8月初旬 40、45、50、55、60、65、70歳の女性に対し個別勧奨通知を送付
- ・ 8月中旬 骨密度測定検査の予約申込
- ・ 9月～11月 骨密度測定検査実施

☆ 令和2年度予算額 3,026千円【市費】

骨粗しょう症予防事業 3,026千円